

令和4年度中央公民館「文学講座」

講師：明戸 洋氏

「市中の隠」とは?!

中世の隠者文学を代表する『徒然草』を読む(2)



昨年は、江戸時代から近年まで不確かであった『徒然草』の作者である兼好法師の出自や活躍について、最新の資料を基にその実態を明らかにしてきました。

今年は、中世の隠者文学を代表する随筆『徒然草』を読んで兼好法師の表現する「市中の隠」に迫ります。

■開催日時 (全9回予定)

令和4年

10月1日、8日、22日、29日

11月5日、12日、26日

12月3日、10日(12月17日は予備日)

いずれも土曜日 午後1時30分～午後3時30分



■会場 松伏町中央公民館 2階 201・202研修室
(松伏町ゆめみ野東3-14-6)

■対象 16歳以上の方 20名(申込み順)

■参加費 無料

■申込み 9月16日(金)午前10時から 中央公民館へ
(電話申込みのみ受付可)

■主催 松伏町中央公民館 ☎048-992-1321

※新型コロナウイルス感染症感染防止のため、参加の際はマスクの着用をお願いします。